

銚子市地域公共交通計画

< 概要版 >

1. 計画の概要【本編P.1】

■ 計画策定の目的・背景

銚子市の公共交通は、鉄道（JR総武本線・成田線、銚子電鉄）や高速バス、路線バスおよびタクシーなどが運行しています。人口減少、自家用車の普及などにより、公共交通利用者は減少傾向で、今後さらに加速していくことが懸念されます。一方で、高齢化の進展等により、公共交通の充実を求める声が高まっています。また、銚子市では、今後の人口減少を見据え、生活サービス機能などを計画的に配置し、持続可能なまちづくりを進めていくため、令和4年度から立地適正化計画の策定に着手しています。さらに、今後も少子化の傾向が継続するとした場合、学校の統廃合を進めなければならないと、児童生徒の通学手段としても公共交通の確保が重要となります。

今後の人口減少や少子高齢化を見据えつつ、持続可能な地域公共交通網を形成するため、公共交通政策のマスタープランとなる「銚子市地域公共交通計画」を策定します。

■ 計画の位置付け

本計画は、「銚子市総合計画」を上位計画として、その他「銚子市都市計画マスタープラン」、「銚子市立地適正化計画」、「銚子市しごと・ひと・まち創生総合戦略」等の関連計画と連携しながら策定を行いました。

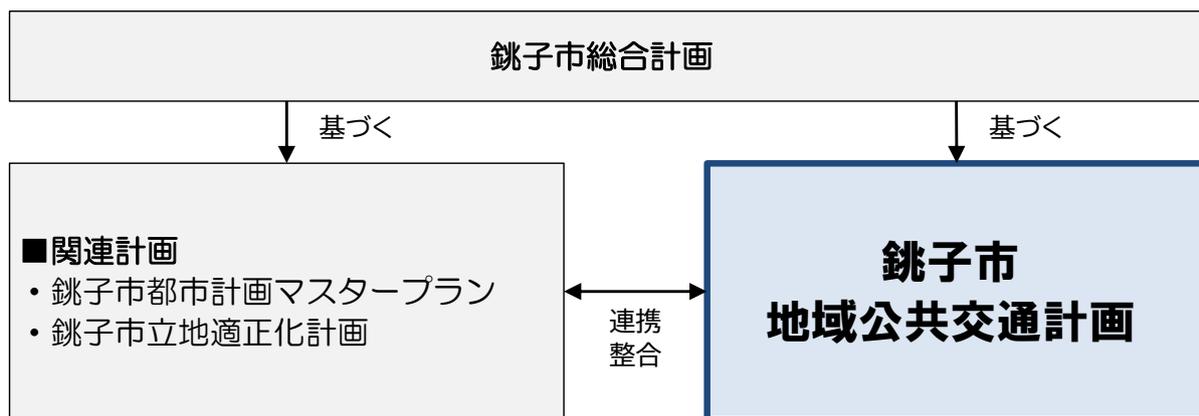


図 計画の位置付け

■ 計画の対象区域

計画区域は、銚子市内全域を対象とします。

■ 計画期間

計画期間は令和6年度～令和10年度の5年間とします。

2. 地域公共交通の現状【本編P.2～P.52】

- ① 人口減少、高齢化が進行しており、高齢単身世帯も増加している。
- ② 外国人居住者やインバウンドなどが増加傾向にある。
- ③ 日常生活において自家用車利用が浸透している。
- ④ 通学・通勤において、市外（旭市・神栖市）への移動が一定数見られる。
- ⑤ 市内には多様な公共交通サービスが運行している。
- ⑥ 西部地域を中心に公共交通不便地域が存在している。
- ⑦ 交通事業者は、運転手不足、運転手の高齢化、改善基準改正への対応が必要。
- ⑧ 東部地域を中心に観光施設が立地しており、年間約250万人の観光来訪者がある。
- ⑨ 2027年度に中学校の統廃合が予定されており、通学圏が広がる。

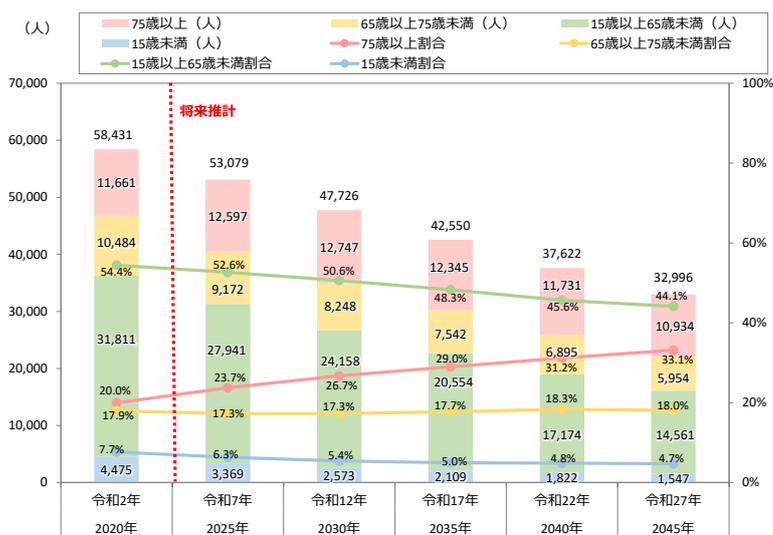


図 将来推計人口

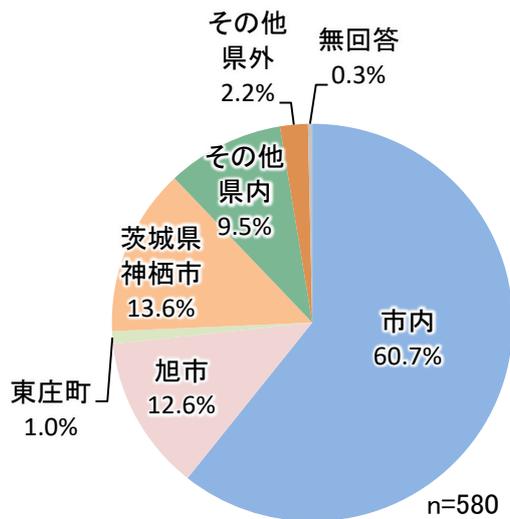


図 通勤先・通学先

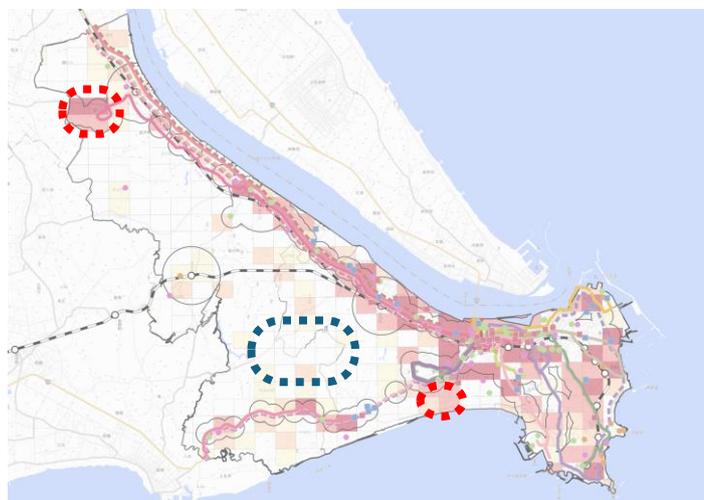


図 公共交通不便地域の例



図 統廃合後の中学校区(予定)

3. 地域公共交通の課題【本編P.53～P.60】

課題1 移動に困っている方々の移動手段の確保

今後、公共交通サービスの必要性は高まることが考えられます。高齢者や小中学生・高校生などが不自由なく、買物・通院などの市内移動を行うことができるような公共交通サービスの検討が必要であると考えます。

課題2 通学・通勤を支える広域移動サービスの維持・向上

旭市・神栖市方面を中心とした広域的な移動サービスの維持・向上を図る必要があると考えます。

課題3 公共交通不便地域に対する公共交通サービスの提供

豊里台や春日町（大谷津地区）などの方々が日常生活に必要なお出かけができるような公共交通サービスの検討が必要であると考えます。

課題4 新規公共交通利用者の獲得に向けた取組の推進

自家用車利用者数を「公共交通の新規利用者の伸びしろ」と捉え、若年層や高齢者をメインターゲットに利用促進を進めることも重要であると考えます。公共交通を知ってもらうための取組の推進、使いたくなる公共交通サービスの検討を行う必要があると考えます。

課題5 運行効率化に向けた公共交通サービスの連携

市内の多様な公共交通サービスが連携し、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークを目指していく必要があると考えます。

課題6 持続的なサービス提供に向けた公共交通の狙い手確保

「公共交通事業者以外による公共交通サービスの提供」も視野に検討を行う必要があると考えます。

課題7 立地適正化計画と連携した公共交通ネットワークの形成

立地適正化計画内で位置付けられる拠点間をつなぐ地域公共交通ネットワークの形成、拠点内の移動を支える公共交通サービスの検討が必要であると考えます。

課題8 観光を後押しする移動サービスの提供

銚子電鉄の各駅から観光施設への交通サービス、観光施設と連携した企画乗車券などの検討を行い、観光客の利便性向上、銚子電鉄の収支改善を図る必要があると考えます。

課題9 まちの変化に対応した移動サービスの提供

まちの変化を整理し、新たな移動ニーズ、今後減少する移動ニーズを踏まえた移動サービスの検討が必要であると考えます。

4. 銚子市地域公共交通の方向性【本編P.61～P.63】

<基本理念>

市民生活・まちづくりを支える
持続可能な公共交通サービスの実現

<計画目標>

計画目標①

移動に困っている方々の日常生活を支える公共交通サービスの提供

自家用車を持たない高齢者や小中学生・高校生にとって利用しやすい公共交通サービスや制度を導入検討し、買物・通院・通勤における移動を支えます。

計画目標②

通勤・通学を支える公共交通サービスの維持

市外への通勤通学手段となっている鉄道や路線バスにおいて、朝夕時間帯の維持を図り、高校生や子育て世代などの通勤・通学を支えます。

計画目標③

公共交通不便地域内における公共交通サービスの提供

公共交通不便地域（鉄道駅またはバス停が近くにない地域）における移動サービス等の展開を行い、最寄り駅や近所のスーパー等への移動を支えます。

計画目標④

利用促進および多様な公共交通サービスの連携による持続可能性の向上

利用促進による利用者の獲得・収入増加、公共交通サービスの連携による費用削減などを検討し、公共交通全体の収支改善を図ります。

計画目標⑤

地域・まちづくりと一体となった公共交通サービスの提供

交通事業者・行政だけでなく、地域住民と一体となり、交通サービスを検討します。また、観光まちづくり、コンパクト・プラス・ネットワークの推進、学校統合等のまちづくりの変化に合わせた公共交通サービスの提供を行います。

<銚子市地域公共交通ネットワークの将来イメージ>



⇄ 広域交通および地域間交通の将来イメージ

- ・ 鉄道、高速バス、路線バスが利用状況に応じたサービス水準で運行されることで、市外および市内拠点間の移動を引き続き支える。

⇄ 地域内交通の将来イメージ

- ・ 身近な移動を支える地域内交通が充実し、自家用車を運転しない方々でも、最寄りの鉄道駅、バス停、スーパー、医院等に外出することができる。また、駅やバス停へのアクセス性向上によって広域交通および地域内交通の利用者増加にも寄与することを期待する。

⊙ 主要交通拠点の将来イメージ

- ・ 乗継環境整備、情報発信の強化などを行うことで、広域交通・地域間交通・地域内交通のそれぞれをスムーズに乗り継ぐことができる交通結節点として機能する。

⊙ 地域交通拠点の将来イメージ

- ・ 乗継環境整備、情報発信の強化などを行うことで、主に地域内交通と地域間交通、地域内交通と広域交通をスムーズに乗り継ぐことができる交通結節点として機能する。

5. 施策および事業【本編P.68～P.69】

施策① 広域交通および地域間交通の維持・向上

事業名	事業概要
<事業1-1> JR線の維持	<p>○鉄道事業者との協議・調整を行い、利用ニーズに応じた鉄道路線の維持を図ります。必要に応じて、市から鉄道事業者へ情報提供等を行うなど、連携した取組を推進します。</p> <p>※併せて、施策④に位置付ける利用促進策を展開し、鉄道の維持をバックアップします。</p>
<事業1-2> 銚子電鉄の維持に向けた検討	<p>○市民・観光来訪者の交通手段でもあり、観光資源としての役割を担っている銚子電鉄を今後も維持するために、利用ニーズに応じた見直し等を行います。見直し検討にあたり、必要となるニーズ調査等の支援や情報提供などを行います。</p> <p>○銚子電鉄の安全整備の整備費用に対し、補助を行います。</p>
<事業1-3> 路線バスの見直し検討	<p>○ドライバー不足・改善基準の改正（2024年4月以降）等により現状のサービスを維持していくことが困難であることから、地域の移動ニーズ・利用状況等を踏まえた見直し検討を行います。必要に応じて、市からバス事業者へ情報提供等を行うなど、連携した取組を推進します。</p> <p>○市民生活に不可欠な路線は、運行を維持するために必要な補助を行います。</p> <p>※併せて、施策④に位置付ける利用促進策を展開し、路線バスの維持をバックアップします。</p>
<事業1-4> 高速バスの維持	<p>○高速バスの路線維持に向けて、バス事業者と協議・調整を行います。必要に応じて、市からバス事業者へ情報提供等を行うなど、連携した取組を推進します。</p> <p>※併せて、施策④に位置付ける利用促進策を展開し、高速バスの維持をバックアップします。</p>

施策② 地域内交通の充実化

事業名	事業概要
<事業2-1> タクシー利活用	<p>○現在実施している一般タクシー利活用の取組を一層推進するとともに、一般タクシーをさらに利用しやすくする取組を検討し、近所のスーパー・クリニック、最寄りの鉄道駅等までの移動を便利にします。</p> <p>【取組の例】 障害者などを対象としたタクシー券の配布、予防接種などの勧奨を目的としたタクシー券の配布 など</p>
<事業2-2> 新たな交通サービスの検討	<p>○移動ニーズがあるものの、公共交通事業者による移動サービスの提供が困難である場合、新たな交通サービスの提供を検討します。</p> <p>【新たな交通サービスの例】 コミュニティタクシー、デマンド交通、自家用有償旅客運送、ボランティア輸送、シェアサイクルの検討、レンタルサイクルの充実化 など</p>

施策③ 交通モード間の連携強化

事業名	事業概要
<事業3-1> 主要交通結節点における乗継環境整備	○複数の公共交通サービスが乗り入れる交通結節点（鉄道駅やイオンモール、スーパー、病院等）において、移動実態に即した乗継ダイヤ調整、快適な待合環境整備、駐車駐輪スペースの確保などを行い、様々な公共交通サービスを利用しやすい環境を整備します。
<事業3-2> MaaSの導入検討	○市内の多様な公共交通サービスに関する情報を一つのアプリに集約することで、複数の公共交通サービスを利用しやすい環境を整備します。 ○検討にあたっては、既存のMaaSサイト（EeeE銚子）の活用等も視野に検討を行います。

施策④ 公共交通の利用促進

事業名	事業概要
<事業4-1> 総合交通マップ・総合時刻表の作成	○市内の多様な公共交通サービスの運行情報（ルートやダイヤ）を一つ冊子に整理し、複数の公共交通サービスを利用しやすい環境を整備します。 ○運行情報だけでなく、外出のきっかけとなるような主要施設の情報の掲載も検討します。また、多言語表記による外国人居住者やインバウンドへの対応も検討します。
<事業4-2> 周知チラシおよびポスターの作成・配布	○運行情報や公共交通利用のメリット、公共交通の実情を知ってもらうためのチラシやポスターを作成し、市民に配布、市内主要施設、市外掲示板（東京駅など）への掲出を行うことで、市民および観光来訪者に対して周知を図ります。
<事業4-3> 公共交通イベントの開催	○公共交通に関するイベントを実施し、市民や観光来訪者が公共交通に触れる機会を創出しながら、マイバス・マイレール意識を醸成します。 【取組の例】 市内イベントへのブース出展、バスの乗り方教室、バスの落書きイベントなど
<事業4-4> 市内施設（商業・医療・観光等）との連携	○商店・観光施設・医療機関等と調整を行い、企画乗車券や割引制度を販売することで、公共交通利用者の増加・地域活性化を図ります。
<事業4-5> モビリティマネジメントの実施	○市内の小中学校や高等学校、市内企業などを対象にモビリティマネジメントを実施し、公共交通を利用する意識の醸成を図ります。 ○モビリティマネジメントの実施と合わせて、夏休みフリーパスや乗車割引券・お試し乗車券の配布なども検討します。

6. 事業スケジュール【本編P.70】

施策	事業	実施スケジュール				
		R6	R7	R8	R9	R10
施策① 広域交通および地域間交通の維持・向上	<事業1-1> JR線の維持	実施				
	<事業1-2> 銚子電鉄の維持に向けた検討	実施				
	<事業1-3> 路線バスの見直し検討	実施				
	<事業1-4> 高速バスの維持	実施				
施策② 地域内交通の充実化	<事業2-1> タクシーの利活用	実施				
	<事業2-2> 新たな交通サービスの検討	検討	実証	評価 検証	(本格運行)	
施策③ 交通モード間の連携強化	<事業3-1> 主要交通結節点における乗継環境整備			検討調整	施策②と連動して実施	
	<事業3-2> MaaSの導入検討			検討調整	施策②と連動して実施	
施策④ 公共交通の利用促進	<事業4-1> 総合交通マップ・総合時刻表の作成				施策②と連動して実施	
	<事業4-2> 周知チラシおよびポスターの作成・配布		施策②と連動		施策②と連動	
	<事業4-3> 公共交通イベントの開催	実施 ※各年1回以上を予定				
	<事業4-4> 市内施設（商業・医療・観光等）との連携	検討調整	施策②と連動	検討調整	施策②と連動	
	<事業4-5> モビリティマネジメントの実施		施策②と連動		施策②と連動	

検討・準備

実施